

■小学校実践事例

第4学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 友達のよさを知る 内容項目 2- (3)「友達と互いに信頼し、助け合う」
- 2 資料名 「ぼくらだってオーケストラ」(東京書籍 ゆたかな心で 4年)
- 3 主題設定の理由

本主題で指導する「友情・信頼」とは、相手を信じ、相手のことを思い大切にしていこうとする友人関係の中で生まれる心情である。「仲がよい」という友達関係にとどまることなく、教え合い、助け合っていく関係をつくることが重要である。「教え合い」の中には、「注意し合う、問題点を指摘し合う」という意味も含まれる。注意されたり、指摘されたりするのは決してよい気持ちのするものではない。しかし、友達のことを思い、誠実に注意することは信頼関係を高め、友情を深めていくものである。そこで、学級生活を共にしながら仲良く遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ね、友達のよさをより強く感じるようになるこの時期に、2- (3) にある「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う」児童を育てることが大切であると考えます。

本学級の児童は、気の合う友達同士では誘い合って仲良く遊んだり、困っているときに進んで声をかけて手伝ったりすることができるようになってきている。しかし、一緒に遊んでいても、自分の利害に関わることが発生すると、素直に相手の話を聞かなかつたり、攻撃的な言動をとったりすることがある。事前のアンケートでも、「よい友達関係」を「一緒に遊んでいる」「けんかをしない」など、仲良くすることが大事であると理解している児童は多いが、注意をしたり、問題点を指摘したりすることが大切なことに気付いている児童は少ない。また、「男だから」「女だから」といった性別にもこだわりが強い実態がある。このような児童に、友情は、信頼し合うこと、教え合うことが大事であり、男女の性別をこえたものであることをとらえさせたい。

本資料は、リコーダー演奏の苦手な主人公てつおに対して、そばにいたなつみが問題点を指摘することから始まる。てつおは、はじめ知らんぷりをするが、親身になって教え続けるなつみの気持ちや考えが次第に分かるようになる。そして、最後には「なつみさんに逆上りを教えてあげようかな」と考えるようになるという内容である。このように、本資料は、男女に関係なく教え合い、助け合っていくことが大切なことを気付かせてくれるものである。

本時学習を指導するにあたっては、「つかむ段階」では、事前実施した「よい友達関係」についてのアンケートの結果を提示し、本時のめあて「友達のよさについて考えよう」をつかませる。次に「深める段階」では、なつみの言葉を音読させたり、てつおの気持ちを心情カードで表したりしながら話し合わせ、気持ちの変化と友情の深まりをとらえさせたい。「見つめる段階」では、事前アンケートに書かれていた「友達がいて良かったこと」を提示し、同じような経験について発表させるようにする。そのことで、資料と同じような友人関係ができてきていることに気付かせたい。最後に「あたためる段階」では、教師の体験談を聞かせることで、教え合い、助け合う友人関係をつくろうとする実践への意欲を高めたい。

4 ねらい

友達のよさをとらえ、友達と互いに理解し合い、助け合おうとする心情を育てる。

5 授業仮説

「見つめる段階」において、事前に行ったアンケートをもとに友達がいてよかった経験をふり返ったり、「あたためる段階」で友情についての教師の体験談を聞いたりすれば、友達を思い助け合おうとする心情が育つであろう。

6 本時学習

(1) 準備 資料、場面挿絵、アンケート結果、ワークシート、心情カード

(2) 展開

	学習活動（主な発問と児童の反応）	指導上の留意点	
つかむ	1 「よい友達とは」について考えを出し合い、本時のめあてをつかむ。	<p>○数人に考えを発表させ、事前 に実施したアンケートをもと に、他にもいろいろな考えがあ ることを知らせる。</p> <p>○資料を発問に関係する場面ま で範読する。</p> <p>○なつみの言葉を数名の児童に 音読させる。</p> <p>○心情カードについて、すっき りといい気持ちの時はオレンジ、 もやもやといやな気持ちの ときは青で表すことを確認し、 心情カードを挙げながら、てつ おの気持ちを発表させる。</p> <p>○考えが分かれることが予想さ れることから、そのように考え る理由を発表させるようにす る。</p> <p>○心情を想像させるように、て つおの会話文を男子、なつみの 会話文を女子に分かれて音読す る。</p> <p>○てつおのなつみに対する気持 ちが変化していることを、視覚 的にも心情カードの変化から確 認する。</p> <p>○事前のアンケートの結果をも とにふり返り、発表を促すよう にする。</p> <p>○友情は、信頼し合い、助け合 うことが大事であると感じた教師 の説話を行う。</p>	
深める	<p>友達のよさについて考えよう。</p> <p>2 資料「ぼくらだってオーケストラ」を読み、主人公「てつお」の気持ちの変化について話し合う。</p> <p>(1) なつみに指摘されたときのてつおの気持ちを考える。</p> <p>「右の小指、あなが半分あいてる。」と、なつみに言分れたとき、てつおはどんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなこと分かっているよ。 ・えらそうに、なんだよ。 ・さか上がりができないくせに。 <p>(2) なつみから教わったことを確かめながら練習しているてつおの気持ちを考える。</p> <p>なつみから教わったことを、一つ一つ確かめながらリコーダーを吹いているとき、てつおはどんなことを考えているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なつみの言うとおりでな。ありがとう。 ・なつみの言うとおりでけど・・・。 ・思い出すと、はらが立つな。 <p>(3) なつみが喜んでくれているのを見たときの、てつおの気持ちを考える。</p> <p>なつみが自分のことのように喜んでくれているのを見たてつおは、どんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なつみは、ぼくのことを考えてくれているんだな。 ・なつみは、本当にいい友達だな。 ・ぼくも、なつみにいろいろ教えてあげたいな。 		
	見つめる		3 友達がいてよかった経験について話し合う。
	あたためる		<p>こんな友達がいて、本当によかったと思ったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人でいるときに声をかけて誘ってくれた。 ・なやんでいるときに相談にのってくれた。 ・困っているときに助けてくれた。 <p>4 友情について、教師の体験談を聞く。</p>

7 授業の実際

(1) 授業前の子どもの様子（事前アンケートの結果から）※複数回答可

- よい友達とは、どんな人ですか。
 - ・一緒に遊んでくれる（16人） ・やさしい（14人）
 - ・助けてくれる、教えてくれる（7人） ・相談にのってくれる（6人）
 - ・約束を守ってくれる、うそをつかない（4人）
 - ・注意してくれる（4人） ・はげましてくれる（3人）
- 友達がいてよかったと思ったのは、どんなときですか。
 - ・一緒に遊んでくれた（11人） ・分からないことを教えてくれた（8人）
 - ・一人の時に声をかけてくれた（5人） ・相談にのってくれた（3人）
 - ・けがをしたときに保健室についてきてくれた（3人）
 - ・はげましてくれた（2人）

(2) 本時の子どもの様子


- 「つかむ」（導入）段階では、事前アンケートの結果を基に、友達存在について確認を行った後に、本時の道徳的問題場面（なつみに指摘をされた場面）を提示した。友達とは「助けてくれる」「注意してくれる」などのアンケートの結果と、性別の違いにより素直に聞き入れることのできない主人公の姿を比べながら友達の存在について考えていくことで、本時の道徳的問題をとらえ、本時のめあてをつかむ姿が見られた。
- 「見つめる」（展開の後半）段階では、事前アンケートに書かれていた「友達がいてよかったこと」を提示し、数名の子どもが紹介することで、性別にとらわれず、よい友達関係を築いていることが自分たちにもあることに気付いていくことができた。
- 「あたためる」（終末）段階では、気付かないうちに友達を傷つけてしまう行動をとっていた自分を指摘してくれた幼馴染の女の子がいたという、教師の体験談を話すことで、今後、男女関係なくよい友達関係を築いていこうとする実践意欲を高めることができた。

(3) 成果と今後の課題

- 資料が、異性関係の中での友情・信頼をテーマとした内容であり、反目する姿や素直になれない主人公の気持ちなど、子どもの実態とあった姿が共感しやすく、主体的に学習を行うことができた。
- 事前にとったアンケートを「つかむ」（導入）段階と「見つめる」（展開の後半）段階で提示したことで、主人公の気持ちを考える活動から、自分や学級の友人関係を考える活動へと発展させることができたと考える。
- 友達のよさを見つけ、となり同士や班の中で友達関係を深めていることなど、普段の生活の中で、よい友達関係を積み重ねている姿を称賛していくことが必要である。


8 授業のワークシート

☆ こんな友だちがいて、本当によかったと思ったことはありませんか。



○ なつみが、自分のことのように喜んでくれているのを見たとき、
てっおはどんな気持ちでしょうか。

◎ なつみから教わったことをひとつひとつたしかめながらリコーダーをふいているてっおは、
どんなことを考えているでしょう。



「右の小指、あなが半分あいてる。」となつみに言われたとき、
てっおはどんな気持ちになったでしょうか。

ほくらだってオーケストラ

名前()

○ てっおは、

